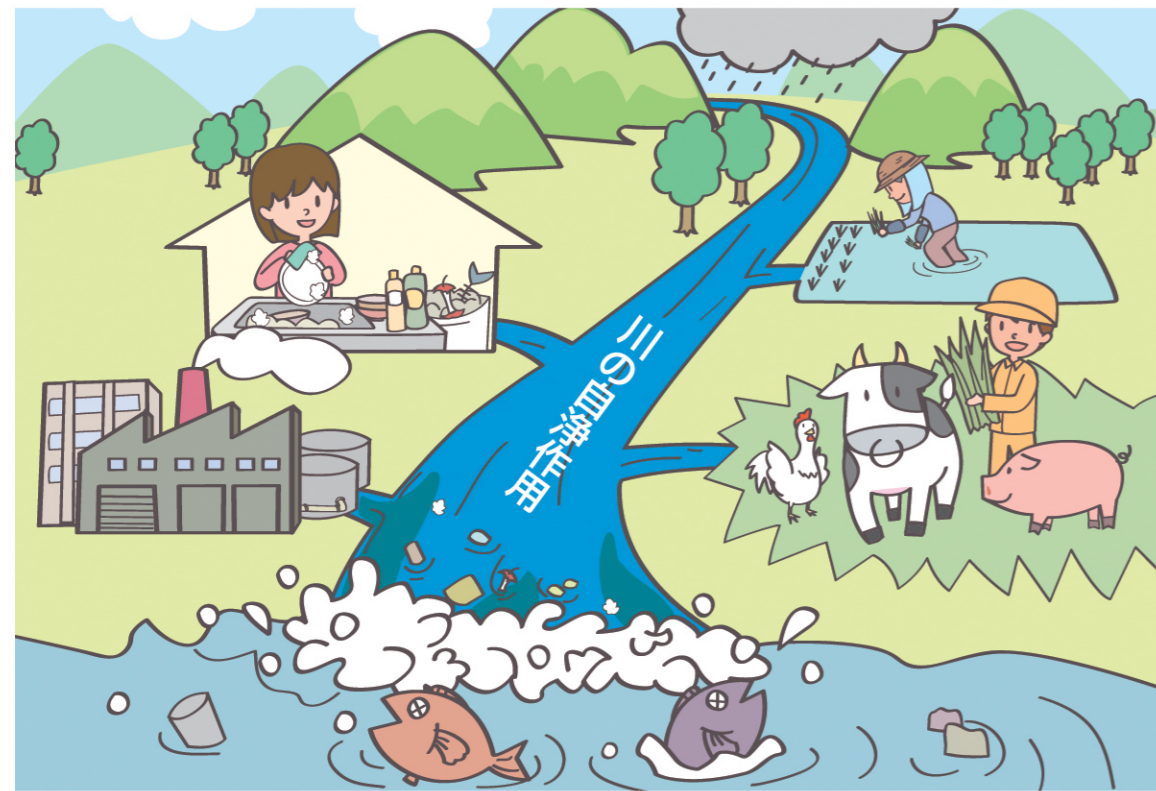


川や海が汚れる原因



川や海を汚している主な原因は、家庭からの生活排水で、流れ込む汚れのうち6割近くを占めています。
しかも、その量は年々増えており、生活排水対策を行うことが、川や海をきれいにするために最も大切になっています。

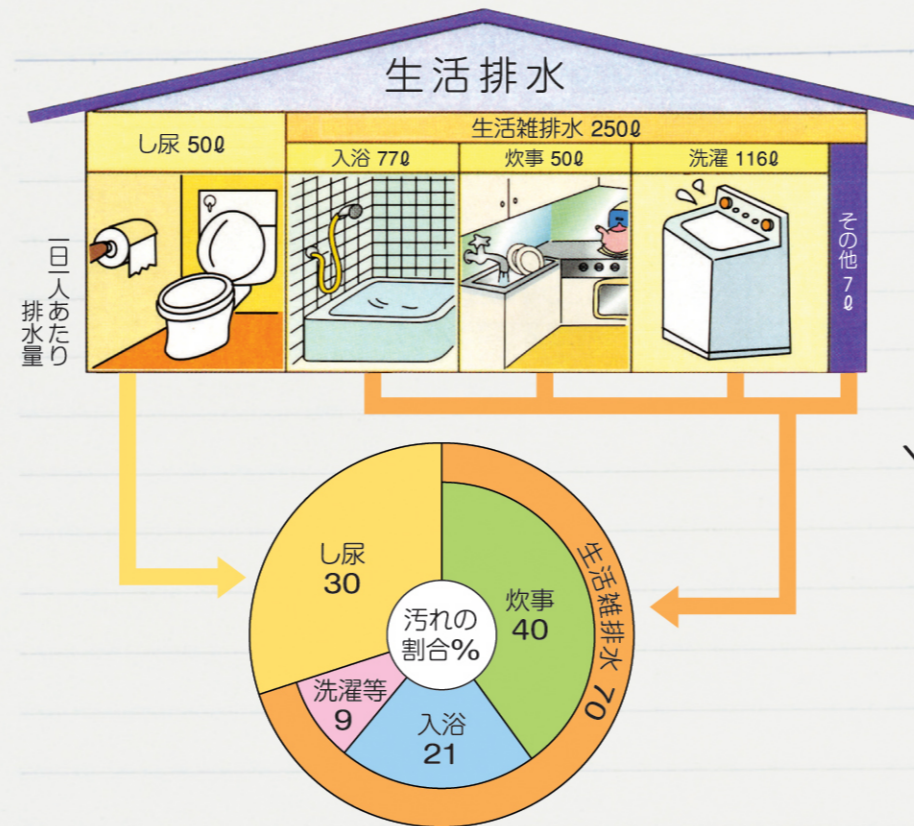
川の自浄作用

川には、汚れ(有機物質)を栄養源として繁殖する微生物がすんでいて、水中に溶けた酸素を消費しながら、汚れを水や二酸化炭素などの無機物に分解し、水をきれいにします。これを「川の自浄作用」といいます。
しかし、川の自浄能力を越えた汚れが流れ込むと、水中に溶けた酸素が不足し、川の水は汚れてしまいます。

生活排水対策重点地域

大村湾流域は平成3年に、佐々川流域は平成5年に、長崎県から生活排水対策重点地域に指定されています。
この二つの流域の市町では「大村湾をきれいにする会」「佐々川をきれいにする会」を結成し、生活排水対策についての啓発活動や、大村湾の浮遊ゴミ回収事業などを行っています。

家庭からはこれだけの汚れが出されています



家庭から出される汚れのうち、最も量が多いものは、みなさん意外に思われるかもしれませんが、炊事の準備・後片付けのとき出されるものです。

なにげなく流しているものに、こんなに汚れがふくまれています

これを流すと?	水がこれだけ汚れる BOD (g)	魚がすめる水質 (BOD5mg/l以下) にするのにお風呂 (300l) 何杯分?
天ぷら油 使用済み (20ml)	30	20杯
マヨネーズ 大さじ1杯 (15ml)	20	13杯
牛乳 コップ1杯 (180ml)	16	11杯
みそ汁 (じゃがいも) お椀1杯 (180ml)	7	4.7杯
米のとぎ汁 (1回目) (500ml)	6	4杯
煮物汁 (肉じゃが) 鉢 (100ml)	5	3.3杯
しょう油 大さじ1杯 (15ml)	2.6	1.7杯
シャンプー 1回分 (4.5ml)	1	0.67杯

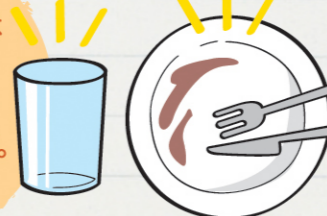
出典:生活雑排水対策推進指導指針より

今日から実行できる! 暮らしの中での生活排水対策

生活排水を処理するためには、下水道や浄化槽などを整備することです。しかしその整備には多くの年月を必要とします。それまでの間、川や海を汚れからまもるため、生活排水を出している私たち自身が、みんなでちょっとしたことに気をつければ川や海に流れ込む汚れの量を減らすことができます。
私たちに何ができるか考えてみましょう。

水にやさしいクッキングの工夫

食事や飲み物は必要な分だけつくり、飲み物は飲みきれぬ分だけ注ぐ。



水きり袋と三角コーナーを利用して、野菜の切りくずなど細かいゴミを流さない。



食器を洗う前に、油汚れなどはふき取ります。



残った油は継ぎ足して使ったり、炒め物に使うなどできるだけ捨てる時には新聞紙などに吸わせて燃えるゴミへ。

米のとぎ汁は植木の水やりに。養分を含んでいるので、良い肥料になります。



水にやさしい暮らしの工夫

お風呂の残り湯は洗たくに。温水などで汚れ落ちも良くなります。(衛生上すすぎは水道水で)



洗たくでの洗剤、お風呂でのシャンプー・リンスは適量を守って使いましょう(多く入れても汚れ落ちが良くなるわけではありません)。

